

## あなたのご家族（兄弟・姉妹・父母・祖父母）に八中の卒業生がいたら見せて下さい。

**お見舞い** 人間、若くても古くても病気や怪我はします。ここ数年のコロナ渦では、お見舞いもままならず、寂しい思いをした入院患者さんも多かろうと思います。患者さんの状況にもよりますが、お見舞いに来てくれてありがとうもあれば、今のこんな状況を見られたくないとか、お見舞いに来てくれば嬉しいが対応せねばならないのはしんどい人もいるはずで。

### 患者は強い1

入院している患者が強い訳がないと誰もが思いますが、その昔面白いことを言った人がいます。その人が言うには、健康な人は生きていく上で色々な不安を持っている。その内の一つが健康不安だと。そうすると日々病気になってはいけないとか、怪我をしてはいけないとか何かと心配で不安な気持ちで過ごしている。ところが入院患者で死ぬまでの状況でなければ、徐々に回復をしていく。となると、日々回復という夢や希望が広がるというのだ。元気な人はかわいそうだとはいえ。

### 患者の思い2

患者は気の毒だと思ってお見舞いもする訳ですが、患者の立場からすると必ずしもそうではなさそうです。勿論、再起不能や死に直結している人は別ですが、回復の見込みのある患者の話です。見舞いに来る人を逆に励ましたりします。「お前、毎日仕事大変だな、俺は今仕事が出来ないから楽なものだよ。」「俺は1人もんだから毎日食事でも大変だが、ここに居れば3食ちゃんと食べられる」「ここには若い看護師がいて、毎日良い目の保養だよ」などと勝手なことを言っている。

### 患者になって3

入院でもしなくてはならないレベルになると、本当に病気や怪我の無い生活の有難みを感じるものです。ところが人間勝手なもので、元気でいるとたまには病気でもしてゆっくりしたいものだと考える時があります。がしかし、それは1～2日程度の話で、中々そんな都合良く行く訳ではありません。ですから入院が長引いたりしますと、本当に健康の有難さが身に染みて分かります。健康なればこそそのわがままなことは明白です。

### 患者と見舞い人

お見舞いですので、患者と見舞い人がいます。見舞う人が患者同様に病気で入院の経験がある人は、痛み・苦しみや不安が分かります。しかし、経験が無ければそれを分かち合うことは難しい。勿論、経験があれば良いというものではない。お見舞いでの励ましというのも中々難しいことであり、要は患者さんにとっては、自分のことを気遣ってくれているというだけで十分なこともあります。お見舞いは親戚や仲間などその範囲もありますが、時には行って良いものかどうかの判断に苦慮することも。

天竜浜名湖線沿線巡り



### ③掛川市 遠州山中酒造（酒蔵）

1789年（寛政元年）横須賀に蔵を構えました。「少仕込み・少量生産・酒母作り・和窯蒸・フネ搾り」の酒造りを伝承しています。

### 「同窓会だより」掲載記事募集

八幡中学校同窓会事務局 代表 白井 鉄男  
連絡先：〒430-0928

浜松市中区板屋町612-402

FAX：(053) 489-6391

[ironman29@hotmail.co.jp](mailto:ironman29@hotmail.co.jp)

「同窓会だより」は、八幡中学ホームページトップの「特色ある活動」から入ると、スマホやパソコンからでも見られます。皆様の友人や同級生にも教えてあげて下さい。「同窓会だより」は毎月発行。

